

【研究費区分】：国際研究環

【研究代表者所属】：東京都立大学大学院 人間健康科学研究科

【研究代表者氏名】：織井 優貴子

【研究代表者氏名フリガナ】：オリイ ユキコ

【研究代表者職】：教授

【研究分担者（所属,氏名,職）】

- ・東京都立大学,大学教育センター, 松田岳士, 教授
- ・東京慈恵会医科大学, 武田聡, 医学部, 教授
- ・東京都立大学大学院人間健康科学研究科, 増谷順子, 准教授
- ・東京都立大学大学院人間健康科学研究科, 島田恵, 准教授
- ・東京慈恵会医科大学医学部看護学科, 福田美和子, 准教授
- ・神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科, 黒河内仙奈, 講師
- ・自治医科大学看護学部, 八木（佐伯）街子, 講師
- ・東京都立大学大学院人間健康科学研究科 客員研究員, 野村美紀
- ・東京慈恵会医科大学, 救急医学講座, 万代康弘, 講師

【研究環組織名】：TMU シミュレーション基盤型看護教育システム国際共同研究チーム

【研究環 HP】

- ・ <https://www.tmu-nsim-lab.com/>

【研究環の活動概要と、ここで形成された研究グループ・研究拠点の今後の研究活動について】

・本研究チームは、2019年5月5日に、第1回キックオフミーティングを開催し、「国際水準シミュレーション基盤型看護教育システム構築と評価」を研究課題とし、共同研究に取り組むこと確認した。

本学看護学科の「看護実践・研修センター」に2019年4月に「シミュレーション看護教育リサーチラボ」を開設された。リサーチラボの使命として、医療を支える看護人材の支援・育成に人型シミュレータを用いた「看護教育システム（仮称）」を開発し、我が国におけるシミュレーション看護教育システムの先駆者となることを目的とした。

研究組織は、看護教育に携わる教員7名、教育工学研究者1名、シミュレーション医学教育の国内での先駆的指導者1名とし、我国の看護教育において、教育工学的視点を取り入れた、国際標準となる「シミュレーション教育プログラム（仮称）」を作成することを目標とした。

【活動方法】毎月第1月曜日 18:00～19:30 まで、今年度は Covid-19 の感染拡大のため、オンラインにてミーティングを開催した。

【今年度の活動実績】

1) 「INACSL (International Nursing Association for Clinical Simulation and Learning) 標準ベストプラクティス」の日本語訳

既に日本語訳がなされ、無償で提供されているものの日本語訳が難解であり、また我国の実情にあっていないことから、許可を得て、全9章を分担し、日本語訳に取り掛かった。主として、看護職者が分担したが、教育的視点からの助言（松田）、医学的視点からの助言（武田、万代）を得ながら完成を目指している。

ベストプラクティスの日本語訳の著作権等について、INACSLのボードメンバーとミーティングを持ち、以下のことを確約した。

①既に日本語訳がなされているため、改めての日本語訳を行うことは難しい

②ただし、日本の国情に合わせて、補填版、あるいは、INACSLベストプラクティスの解説書として、現行の内容に解説を加え、日本国内で普及させるような活動は差し支えない。可能であれば、出版等を行い、日本国内での普及の拠点として研究に活用する。

2) 国際シンポジウムの準備と開催

開催日時：2021年3月14日（COVID-19の影響を受け、当初予定（2019年9月）より延期を決定）

名称：東京都立大学国際シンポジウム 2020

会場：オンライン開催（拠点は東京都立大学荒川キャンパス）Zoom機能を用いて実施した。

方法：2021年3月14日（日）オンラインライブシンポジウム（Zoom機能を用いて実施；事前登録者のみ）
3月5日～3月31日まで シンポジストの講演ビデオ配信（登録者のみ）

参加者：国内の看護教育者、看護職者、医療職者等、400名を予定し、オンライン登録

参加費：無料（研究費の規定による）

3) シンポジスト（海外シンポジストの招聘）

*Dr. Janet Willhaus; President of INACSL (International Nursing Association on Clinical Simulation and Learning), Associate professor, University of Wyoming

*Dr. Stephen Guinea ; Associate Professor, Associate Dean | Learning, Teaching and Professional Experiences Faculty of Health Sciences Australian Catholic University

*Ms. Susan Strong; Visiting Professor; Tokyo Metropolitan University,
Senior Lecturer, research methods and work-based learning Academic Practice Lead
Faculty of Health, Social Care and Education, Kingston University and St Georges
University of London

*Ms. Sabrina Koh ; Deputy Director, Nursing Education and Development (NED), Sengkang General Hospital Campus Director , Sing Health Duke NUS Institute of Medical Simulation (SIMS) Sengkang General Hospital Campus Deputy Chair , College of Clinical Nursing (CCN) , Sing Health Academy

*Ms. Torunn Strømme; PhD-candidat / assistant professor / ICCN SHARE – Center for Resilience in
Healthcare Department of Quality and Health Technology University of Stavanger

【今後の活動方針】

1. 定例ミーティングを実施し、シミュレーション教育の基盤づくりに向けて共同研究者を拡大して研究を進める。

2. 活動拠点は、「看護実践・研修センター」内「シミュレーション看護教育リサーチラボ」とし、荒川キャンパス図書館棟2階 看護教育実習室を整備し、研究実践拠点として機能させていく。

3. 研究代表者のこれまでの研究成果で教授設計に基づいて開発した「シミュレータ(コンピュータ制御の人体モデル人形)を用いたシミュレーション看護教育プログラムを、国際水準としてのモデルに必要な知識・技術・態度の到達目標を新たに加え洗練する。
4. 国際標準となる「シミュレーション看護教育プログラム(仮称)」の作成を目指し、INACSL ベストプラクティス補助版の完成を目指す。
5. 国際比較が可能な評価基準を検討し、看護師の育成支援と国際水準のシミュレーション看護教育モデルの構築をめざす。
6. 国際シンポジウムの企画と実施
今回の国際シンポジウムで作上げたネットワークを活用し、今後も、国際的に先駆的な研究者、実践者とのインターネット会議等を継続的に企画し、「シミュレーション看護教育」の方法とその成果評価について、学際交流する機会を設ける。
7. 国内における「シミュレーション看護教育」の研究拠点となることを目指す。

【学会発表】

- ・なし

【論文発表又は著書発行】

- ・なし

【学術会議開催実績報告】(再掲)

- ・名称) 東京都立大学国際シンポジウム 2020

「国際水準シミュレーション基盤型看護教育システム構築と評価」

開催日時: 2021年3月14日(オンライン、ライブシンポジウム)

会場: オンライン開催(拠点は東京都立大学荒川キャンパス)

方法: 2021年3月14日(日) オンラインライブシンポジウム(Zoom機能を用いて実施; 事前登録者のみ)
3月5日~3月31日まで シンポジストの講演ビデオ配信(登録者のみ)

参加者: 国内の看護教育者、看護職者、医療職者等、400名を予定し、オンライン登録

登録者: 国内 243名 国外 30名 合計 273名

当日参加者: 国内 100名 国外 16名

参加費: 無料(研究費の規定による)

シンポジスト: 海外研究者招聘実績参照

(※国際学術会議にあたるものには「・」を「*」にすること。)

【海外研究者の招聘実績】再掲

次の5名を国際シンポジウムのシンポジストとしてオンラインライブシンポジウムを開催した。

*Dr. Janet Willhaus; President of INACSL (International Nursing Association on Clinical Simulation and Learning), Associate professor, University of Wyoming

*Dr. Stephen Guinea; Associate Professor, Associate Dean | Learning, Teaching and Professional Experiences Faculty of Health Sciences Australian Catholic University

*Ms. Susan Strong; Visiting Professor; Tokyo Metropolitan University,

Senior Lecturer, research methods and work-based learning Academic Practice Lead
Faculty of Health, Social Care and Education, Kingston University and St Georges
University of London

*Ms.Sabrina Koh ; Deputy Director, Nursing Education and Development (NED), Sengkang General Hospital Campus Director , Sing Health Duke NUS Institute of Medical Simulation (SIMS) Sengkang General Hospital Campus Deputy Chair , College of Clinical Nursing (CCN) , Sing Health Academy

*Ms.Torunn Strømme; PhD-candidat / assistant professor / ICCN SHARE – Center for Resilience in Healthcare Department of Quality and Health Technology University of Stavanger

【国際研究環支援や外部資金への応募状況】

- ・2021年度 国際研究環支援 応募 (不採択)
- ・科学研究費補助金基盤研究A (不採択)
- ・2021年度 傾斜的研究費 (応募中)

【科学研究費助成事業や国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

- ・なし

【受賞等】

- ・なし

【その他社会貢献】

【公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等】

- ・INACSL 正会員 (Leg. 日本代表)、日本看護シミュレーションラーニング学会理事、SSSiH 正会員、ASPiH 正会員
- ・看護シミュレーション教育の進め方 (設計・評価) オンラインセミナー.日総研, 2020年10月
- ・看護シミュレーション教育の進め方—シミュレーション教育のシナリオを作成してみよう. 岐阜県看護協会, 2020年, 8月

【研究成果による特許等の産業財産権の出願・取得状況】

(産業財産権の種類, 名称, 出願番号, 出願年月日)

- ・なし

【研究分担額】

(研究代表者・分担者名, 所属, 金額 (円))

- ・織井優貴子・東京都立大学大学院人間健康科学研究科 5,000,000 円